

扶桑武俠傳

演出者用台本記録帳

シナリオ名

裏切りの閃光

「脇役」外道キャラクター・シート

名前:	劉 爆静(りゅう ばくせい)		
口癖:	「俺はまだ死ねないんだよ」		
	【雷(武力)】13	2	【風(機敏)】
陽	【沢(魅力)】10	5	【山(自我)】陰
	【火(知力)】7	8	【水(感覚)】
生き様	風ノ翻弄(周りを欺き、生き抜く)		
功夫	【雷(武力)】<腿術3>		
武器	なし		
命力	15 / 4 D		
特殊攻撃	閃光脚		
使用回数:	1回	活劇段階:	第三段階
対象:	武俠間合い(任意)		
効果:	[武俠間合い]の任意の対象に攻撃 白い粉を発光させて目晦ましにする 目を開いている相手は二段階下がる		

名前:	“北斗美髯”木 仁雪(もく じんせつ)		
口癖:	「やはりあの時殺しておくべきだった」		
	【雷(武力)】10	10	【風(機敏)】
陽	【沢(魅力)】10	10	【山(自我)】陰
	【火(知力)】10	10	【水(感覚)】
生き様	風ノ断罪(不浄な行いには厳罰を)		
功夫	【雷(武力)】<劍聖劍法3>		
武器	劍[殺傷値7]		
命力	18 / 5 D		
特殊攻撃	劍聖七星劍 武曲 飛燕残霧劍		
使用回数:	2回	活劇段階:	第四段階
対象:	武俠間合い(任意)		
効果:			

名前:			
口癖:			
	【雷(武力)】		【風(機敏)】
陽	【沢(魅力)】		【山(自我)】陰
	【火(知力)】		【水(感覚)】
生き様			
功夫			
武器			
命力	/ D		
特殊攻撃			
使用回数:		活劇段階:	
対象:			
効果:			

名前:			
口癖:			
	【雷(武力)】		【風(機敏)】
陽	【沢(魅力)】		【山(自我)】陰
	【火(知力)】		【水(感覚)】
生き様			
功夫			
武器			
命力	/ D		
特殊攻撃			
使用回数:		活劇段階:	
対象:			
効果:			

「賊徒」キャラクター・シート

名称: 劍聖派の追手

[賊徒人数]:	10人	[賊徒レベル]:	3
[賊徒命力]:	80	[殲滅値]:	30
	陰()	陽()	
1~3	一段階活劇	二段階活劇	
4~10	二段階活劇	三段階活劇	
11~13	三段階活劇	四段階活劇	

名称: 天文会の勧誘隊

[賊徒人数]:	10人	[賊徒レベル]:	2
[賊徒命力]:	80	[殲滅値]:	15
	陰()	陽()	
1~3	零段階活劇	一段階活劇	
4~10	一段階活劇	二段階活劇	
11~13	二段階活劇	三段階活劇	

シナリオのテーマ

「護衛と陰謀」
 両目に眼帯をした武俠、劉爆静に護衛を頼まれる、彼は汚名を注ぐための決戦をするのだがその決戦の邪魔をするものがいてすでに重傷を負っている、決戦の相手とは

シナリオの舞台

舞台その1 情景・設定
 とある町のさびれた客棧の前

舞台その2 情景・設定
 決戦の舞台への道中、森に囲まれて見晴らしの悪い小道、天文会が待ち伏せている

舞台その3, 4 情景・設定
 決戦の舞台、湖沿いのすべりやすい洞窟の中

シナリオの設計図

<p>第一幕 PCの登場・状況設定</p> <p>PC達が一息つくために客棧を訪れると、その前で劉爆静に劍聖派の武俠に囲まれている見るに見かねて助けると、どうしても決着をつけるために決戦に赴かねばならないが、相手はこうして追手を差し向けてくるという、PC達を真の武俠と信じて護衛を依頼する</p>	<p>開幕(始まりの情景) 小さな町の客棧の前、両目に眼帯、松葉杖の武俠が劍聖派の一段に囲まれてどうやら攻撃を受けているらしい</p> <p>出発への扉 警戒の少ない夜分に客棧を後にするこの先に待つ危険はいかほどのものか</p>
---	--

<p>第二幕 冒険</p> <p>劍聖派を破門された劉爆静を天文会が引き込もうと狙ってくるが、一顧だにせず、決戦へ向かう 決戦場へたどり着く頃には劉爆静は瞑想により回復し、眼帯はつけたままだが松葉杖は不要になっている だが、この決戦自体が劉爆静を恵玉陰が仕組んだものであり、恵玉陰は師である木仁雪を騙し打ちにしてしまう</p>	<p>事件その1 絆(第二幕開始後30分以内) 道で天文会の集団に囲まれる、劉爆静に劍聖派を抜けて天文会に入ることを促すが、劉爆静は当然断り、決意を新たにする</p> <p>「宿敵」の影(第二幕開始後30分前後) 再び劍聖派の一派が現れる、「貴様の居所など筒抜けなのだ」と言われる</p> <p>事件その2 死(第二幕開始後40~50分) 決戦の舞台へたどり着く、なんとその相手は劉爆静の師匠、“北斗美髯”木仁雪であった だが、いざ決戦のその瞬間、木仁雪は背中から剣で貫かれる</p> <p>解決への扉 劉爆静は恵玉陰に「よくやった」と声をかけ、証拠隠滅のためにPC達に襲い掛かる</p>
--	---

<p>第三幕 決戦と解決</p> <p>すべての顛末はその昔、兄を劉爆静を同じ理由で木仁雪に殺されてしまった恵玉陰の計略である 兄を殺した師を恨み、同じことをしながら生きながらえている劉爆静が許せなかったのだ すでに以前の過ちを後悔し、劉爆静を殺せなかった木仁雪の想いは露と散る</p>	<p>「宿敵」の登場・決戦 劉爆静はPC達に命乞いをするが、それまで戦いを黙って見守っていた恵玉陰が止めを刺してしまう、恵玉陰は最初から二人とも殺害することを狙っていた</p> <p>解決とエピローグ 木仁雪が命を取り留める可能性はある、またPC達が恵玉陰を助けてしまうなどもあり得る 暗い洞窟の中で、劍聖派の一大勢力の命運が変わる</p>
--	---